

上島町

マドンナカップin伊予市 ビーチバレー
ジャパン女子ジュニア選手権大会
弓削高等学校バレー部ます だ ゆい はら ゆう こ
舩田唯さん & 原裕子さんが出場！

写真左から、原裕子さん、舩田唯さん

8月17日から、愛媛県伊予市の五色姫海浜公園ビーチバレーコートにおいて開催された「マドンナカップ ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会」に弓削高等学校バレー部の舩田唯さんと原裕子さんのペアが出場しました。

春先の大会終了後、3年生が退部し、部員が少なくなった弓削高バレー部。2年生の舩田さんと原さんは、“バレーが好き” “バレーを続けたい”という気持ちから、バレー部顧問の岡田教諭の勧めで、2人ペアで行うビーチバレーを始めることになりました。大会まであまり日数のない中、社会人のアドバイスを受けながら、松原海水浴場などで一生懸命に練習を重ね、7月に行われた同大会の愛媛県予選に出場し、初出場ながら準優勝に輝き、全国大会の切符を手に入れました。

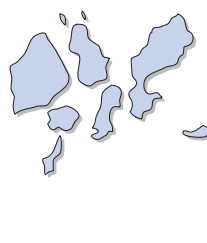
そして全国から51チームが出場して開催された全国大会。緊張しながら予選グループ戦に挑み、念願だった“1勝”をあげ、見事、予選を突破しました。翌日、決勝トーナメント戦に出場し、懸命のプレーで大健闘しました。惜しくも敗れてしまいましたが、「弓削高等学校」の名を全国にアピールすることができました。

全国大会出場を果たした二人に話を伺うと、「1回戦はとても緊張して勝てるとは思ってなかったけど、1勝できてすごくうれしかったです。決勝トーナメントは、自分たちのバレーが出来るように頑張りました。



全国大会の模様

初めての全国大会だったのでいろいろ大変だったけど、1勝できたことは次につながる良い経験になりました。来年は全国大会で優勝を目指していきたいです。」と力強く語ってくれました。

8月5日
～9月3日

陸上競技 全国・四国大会で大健闘！

弓削中学校3年生 田中克典さん

弓削中学校2年生 長田優菜さん

岩城中学校1年生 村上佑治さん

【第44回四国中学校総合体育大会陸上競技】

8月5日から香川県立丸亀競技場において開催された四国中学校総合体育大会陸上競技に、弓削中学校3年生の田中克典さんと岩城中学校1年生の村上佑治さんが出場し、大健闘しました。

まず、男子1年1500mに村上さんが出場しました。

激しいポジション争いが展開されるレースとなりましたが、持ち前の粘りを発揮し、6位入賞（4分41秒66）を果たしました。

田中さんは、男子3年1500mと男子共通3000mに出場しました。1500mは、昨年から全国区で活躍している実力を発揮し、4位入賞（4分13秒80）を果たしました。翌日行われた3000mは、惜しくも11位（9分32秒81）でした。また、女子2年1500mに出場した長田さんは、15位（5分28秒02）でした。

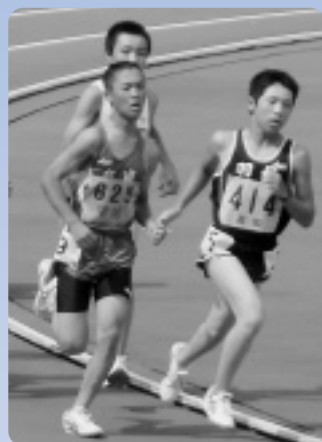
【第33回全日本中学校陸上競技選手権大会】

8月18日から香川県立丸亀陸上競技場において開催された全日本中学校陸上競技選手権大会に、田中克典さんが出場しました。

男子3000mに出場した田中さんは、予選19位（9分29秒99）と、全国の強豪の前に予選で敗退してしまいました。

この経験を胸に、今後も全国区での活躍を期待しています。

頑張ってください。



村上佑治さん（写真左）



田中克典さん

『歩き方で人生が変わる!?!』 上島町夏季大学 開講

8月27日、せとうち交流館において、平成18年度上島町夏季大学が開催され、137人が受講しました。

南海放送パーソナリティーの小林真三さんの司会で講師紹介が行われると、会場の後方から講師の忠政ひろふみさんが軽快なステップで登場しました。「歩き方で人生が変わる!?!」と題した講演は、なぜウォーキングをするのかに始まり、正しい歩き方、正しい歩き方での効能などを身振り手振りで解説していただきました。

正しい歩き方で歩いていないと、普段の生活で使わない筋肉が硬くなり老化が進んでしまいます。筋肉を柔らかくするには、筋肉に多くの酸素を送る必要があります、そのために正しい歩き方で筋肉を使うことが大切だそうです。皆さんも元気に人生を送っていくために、正しい歩き方でウォーキングを始めてみてはいかがでしょうか。

最後に、小林さんによる健康クイズや町の健康人4人によるトークが行われ、興味津々に聞き入っていた受講者は健康の秘訣を会得していたようです。



忠政ひろふみさん



健康人トークの様子

消防団活動の充実のために 消防用備品を購入しました

この度、(財)自治総合センターのふるさと消防団活性化助成事業で、消防団活動の充実と消防意識向上のための備品を購入しました。

購入した備品は、今年度完成する消防庁舎に設置し、消防団員・町民の皆さんのために活用していきます。

【購入備品】

テレビ2台
ビデオカメラ
ビデオプレーヤー
デジタルカメラ
ノートパソコン

購入した備品



消防技術の向上と統率力の充実に 上島町消防団夏季幹部講習会in生名

8月27日、生名島において、上島町消防団85名が参加し、夏季幹部講習会が開催されました。

この講習会は、迅速且つ的確な消防技術の習得と消防団員への指揮統率力の充実を図り、消防任務の遂行に資することを目的に毎年開催されています。

まず、炎天下の立石野球場において、規律正しい姿勢や服装の点検などの訓練礼式が行われました。続いて、会場を開発総合センターに移し、外傷の応急手当の方法や搬送法の講習が行われました。団員は、消防職員の説明に熱心に聞き入り、消防団員としての使命を再確認することができました。



搬送法の説明



熱心に講習に聞き入る消防団員

第1回上島町国民保護協議会開催

8月31日、せとうち交流館において、第1回上島町国民保護協議会が開催されました。

この協議会は、平成16年9月に外国からの武力攻撃が行われた場合に住民を保護するための「国民保護法」が施行され、全国の市町村に設置が義務づけられたもので、上島町でもこの保護法に基づき、上村町長をはじめとした町幹部職員や自衛隊、警察、今治地方局、郵便局、消防団、各地区の学識経験者など25名の委員により設立したものです。

当日はまず、会長の上村町長が「離島という特性に合わせた上島町国民保護計画の策定のためにご協力を賜りますようお願いします。」と挨拶を行い、委員の自己紹介が行われました。議事では、職務代理者の選任や国民保護法の概要説明、上島町国民保護計画の方向性や策定スケジュールなどを審議し、承認しました。

この協議会は、愛媛県の国民保護に関する計画に基づき、上島町の地域特性をふまえた計画を策定します。計画は平成19年3月に完成する予定です。



魚島地区

魚島の夏は

「てんてこ てんてこ てんてんやあ！」

8月14・15日の両日、魚島地区の盆踊り行事が行われました。

14日の夜の盆踊りには、ダーツ、くじ引き、金魚すくいの夜店も登場。元気すぎる金魚に子供たちの歓声のため息が入り乱れました。盆踊りの輪も徐々に人が増えてきて、夜更けまで例年以上の賑わいを見せました。

翌15日は、大勢の帰省客を交えての伝統行事「テンテコ踊り」が催され、約40人の踊り手が、和服姿になんとも奇妙な化粧をして練り歩きました。猛暑と熱気で踊り手も観る人もみんな真赤な顔になりながら、「てんてこ、てんてこ、てんてんやあーこらさ、こらさ」の威勢の良い掛け声と共に、魚島のお盆を満喫しました。



15日 テンテコ踊り



14日 盆踊り

宝くじ助成で清掃用具を整備

この度、平成18年度コミュニティ助成事業で、草刈機やスコップなどの清掃用具を魚島自治会に配備しました。

自治会が保守管理と各種団体への貸し出しを行い、町道や海岸などの環境美化活動に活用します。今後、伝統行事やイベントなど地域のコミュニティ活動にも波及効果が期待されます。

【清掃用具の品種・数量】

草刈機(16台)、チェンソー(3台)、スコップ(3種30本)、熊手(20本)、竹ホーキ(20本)、しゅろホーキ(20本)、鎌(20本)、ツルハシ(20本)、三日月鍬(20本)、いしみ(20個)、レーザーソー(5台)



浦島伝説の使者現れる！?

8月23日午前、魚島港の桟橋に黒山の人だかりが出来ました。何かとこのぞいて見れば、そこには目を潤ませた大きな“アカウミガメ”が鎮座していました。

漁網に迷い込んでいたのを船に引き上げ、連れ戻ったとのことで、珍客を一目見ようと、大勢の皆さんが駆けつけました。甲羅の大きさは80センチメートル、体重は100キログラムぐらいでしょうか。残念なことにアカウミガメは、絶滅危惧種に指定されているので、ひとしきり出会いと触れ合いを楽しみ、漁師の手厚い保護を受けながら沖合に放たれました。

救い出した漁師には、きっと素敵な恩返しがあることでしょう。



生名地区

夏休みの成果を発揮！ 生名小学校で泳力測定

8月23日、波間田海水浴場において、生名小学校の泳力測定が行われました。

快晴の中、泳力測定が始まると、夏休みに泳いだ成果を発揮しようと、児童たちは自己ベストを目指して泳ぎ出しました。時折、フェリーが通るたびに大きな波がきて苦しい場面もありましたが、波にも負けず頑張っていました。中には500メートル以上泳ぐ子もいて、応援に駆けつけていた保護者の皆さんも我が子の泳ぎにビックリしていました。

記録も大事ですが、これからも島っ子としていっぱい泳げるように頑張ってください。



もうすぐゴール 頑張れ！



息継ぎも完璧です！



見事な泳ぎ

今年も大盛況！ サウンド波間田キャンプ場

今年の夏も暑かったあ！

生名島のサウンド波間田キャンプ場には、毎年多くの方がキャンプや海水浴に訪れます。今年も大盛況で、浜辺でバーベキューをする家族、のんびりと釣りをする親子、皆さんそれぞれ生名の海を満喫していたみたいです。

写真を撮りながら、海に飛び込みたい衝動に何度も駆られました。来年も沢山の方が来てくれることを願っています。



生名島の夏の風物詩「はんじき踊り」

8月13日～15日の3日間、生名中学校校庭において、毎年恒例の盆踊りが開催されました。生名島に帰省したたくさんの人々と共に、亡くなった方を偲びながら「はんじき踊り」

などを踊っていました。校庭の一角で行われた夜店では、青年会の皆さんがイカ焼きやかき氷などを販売し、大変な賑わいでした。



賑わう夜店



はんじき踊り

“笑い”で健康に！ 生名地区夏季講座 開催

8月22日、生名開発総合センターにおいて、生名地区夏季講座が開催され、約80人が参加しました。

今年は、講師に新居浜病院副院長の枝廣篤昌先生をお招きし、「笑い与健康」という演題で落語の実演を交えた講演をしていただきました。前半は、芸乃虎や志師匠（枝廣先生の芸名）による生の落語をたっぷり聞かせていただきました。枝廣先生の落語は大変な熱演で、会場内には笑い声が溢れていました。

後半は、精神科の医師として、また、日本笑い学会の会員としての立場から、私たちの日常生活の中で、“笑い”がいかに大切なものであるかについて、大変興味深いお話をさせていただきました。参加者の皆さんは、「笑うこと」の効果について考えるよい機会となりました。



岩城地区

甲子園以上の盛り上がり！ 第51回上島町いわぎ野球大会

8月14日、岩城総合グラウンドと岩城小学校グラウンドにおいて、第51回上島町いわぎ野球大会が開催されました。

当日は、大変暑い日となりましたが、毎年、お盆の恒例行事となっている野球大会を楽しみにしている人も多く、8チームが熱戦を繰り上げました。時には真剣に、時には和気あいあいとプレーする選手や一生懸命に応援する観客らが互いに交流を深めました。



優勝した「東チーム」

岩城中学校で おさかなヘルシー1日教室

8月27日、岩城中学校において、お魚ママさんを講師に招き、中学生と保護者を対象にした「おさかなヘルシー1日教室」が開催されました。

この日は、鯛を使ったカレーやサラダなど、創意工夫を凝らした料理を一生懸命に作り上げました。また試食では、意外な美味しさに参加者たちはビックリしていました。参加者は、魚をより身近に感じる良い機会になったようです。



そばき方を見守る参加者

真夏の夜の賑わい「盆踊り」

8月15日、岩城中学校グラウンドにおいて、岩城地区の盆踊りが行われました。

今年は、岩城の海原・西部地区の参加や新盆の家庭が多かったこともあり、昨年より多い約1,000人の方が訪れました。

盆踊り会場は、帰省者と町民の交流の場所となり、島本陣岩城太鼓の演奏や商工会青年部の夜店を囲みながら、久しぶりに再会した友人や親戚、子どもからお年寄りまで、真夏の夜のひと時を楽しんでいました。

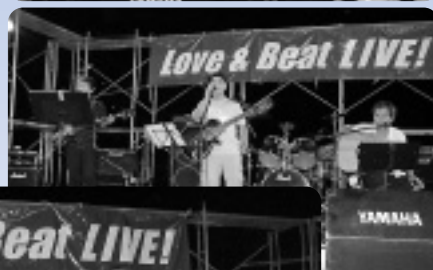


島本陣岩城太鼓の演奏

音楽とビールで夏を満喫！ Love&Beat LIVE! 2006

8月19日、岩城港の物揚場において、「Love & Beat LIVE2006（ビアガーデン&ライブ）」が開催されました。

当日は、台風の影響が心配され、野外での開催が危ぶまれましたが、台風一過、9回目のイベントはThe EDAMAMEXから軽快にスタートしました。J-POPやロック、なつかしいフォークなど、地元バンドの面々が熱演を繰り上げました。途中、上村町長の飛び入り参加もあり、夏の終わりを楽しもうと来場したお客さんは、生ビール片手にノリノリで盛り上がっていました。



夏休みの楽しい思い出！ 岩城小学校「校内水泳大会」

8月23日、長江町民プールにおいて、岩城小学校の校内水泳大会が開催され、児童70人が参加しました。

低・中・高学年別に各種目に取り組み、自分で決めた種目にチャレンジしました。児童たちは、夏休みの間に練習に励み、自己記録を大きく上回っていました。そして、最後は1年生から6年生までの4チーム対抗のリレーが行われました。

どの子も一生懸命に泳ぐ姿が印象的で、大変盛り上がっていました。

閉会式の後には、4～6年生の希望者による500メートル遠泳のチャレンジが行われ、今年は、17名も遠泳に成功することができました。

大はしゃぎの子どもたち



まずは準備体操



ビート板での水泳



児童に見守られながらの対抗リレー

弓削地区

年代を超えた交流深まる
ふるさとソフトボール大会

8月14日、弓削小中学校グラウンドと弓削高等学校グラウンドにおいて、恒例のふるさとソフトボール大会が開催されました。

同級生でチームを作り、年代別に各会場に分かれて、女性や子どもたちも加わり和気あいあいとした雰囲気での試合が行われました。

試合後は、せとうち交流館に会場を移し、懇親会が行われ、年に一度の同級生や先輩・後輩との再会に会場は大変盛り上がっていました。



懇親会

真夏のサッカーはバテバテ…
ゆげOBサッカーフェスティバル

8月13日、弓削小中学校グラウンドにおいて、恒例のゆげOBサッカーフェスティバルが開催されました。

今年は高校生チームも加わり、年代別の6チームに分かれての熱戦が繰り広げられました。参加者は、息苦しいほどの暑さの中、バテバテになりながらボールを追っていました。また試合の合間には、ゆげサッカースクールと帰省した子どもたちによる試合も行われ、親睦を深めていました。

試合後は、懇親会が行われ、思い出話に花を咲かせながら、大変盛り上がっていました。



白熱した試合

ふるさとで新発見！ふるさと水辺の生き物教室 開催

8月21日、佐島の竹浦池周辺において、「ふるさと水辺の生き物教室」が開催され、弓削小学校の児童21人が参加しました。これは、愛媛県の主催で行われている事業で、田んぼ、水路、ため池の生き物調査とおして、次代を担う子どもたちに、地域の自然環境の素晴らしさや、身近にある農地と土地改良施設の様々な役割について理解を深めてもらうことを目的に開催されているものです。

この日は、愛媛大学農学部酒井雅博助教授らの指導で、「バッタ」「甲虫」「トンボ」「チョウ」の各班に分かれて、昆虫捕りを体験しました。子どもたちは虫かごをぶら下げ、池のほとりや山の中に入って様々な生き物を楽しそうに採っていました。

その後、弓削開発総合センターに会場を移して、池で捕まえたエビ、フナ・ヤゴなどを観察したり、捕まえた昆虫の正式な名前を図鑑で調べたりしました。一生懸命に図鑑で調べ、名前がわかったときは、みんなで喜んでメモをとっていました。最後に、酒井先生から「生き物がたくさん住んでいるということは、豊かな自然が残っているということです。このふるさとで自然をみんなで大切にしていってください」と話があり、子どもたちは、知らないことを知る喜びと、ふるさとで自然の豊かさを再確認できたようでした。



今では珍しいヤゴも採れました



じっくり昆虫を観察する子どもたち



昆虫を追う子どもたち

“上島町初” 佐島地区自主防災会が避難訓練を実施

9月3日、佐島地区において、佐島地区自主防災会主催による避難訓練が行われました。

この訓練は、南海地震に備え、津波が来ることを想定して行われたもので、「避難に要する時間」「避難者のチェック体制」「一時避難場所の適否」などを地域として検証するために、上島町では初めて、自主防災会による避難訓練が行われました。当日は、子どもから高齢者まで326人（住民297人、消防団29人）、佐島地区人口の約60%が参加しました。

訓練は、避難勧告の放送と同時に、高い所にある避難場所まで避難するもので、高齢者や幼児を抱えた方には大変きつく、災害時には、地域・近所で助け合わなければならないことを再確認することができたようです。また、訓練後に行われた反省会では、次回訓練に向けての活発な意見が出されていました。

他の地区の皆さんも、自主防災組織を結成し、訓練を重ね、いざという時に備えていただきたいと思います。



避難後の点呼



旧佐島小学校への避難

弓削保育所園児がEM団子作り

9月2日、下弓削中央集会所において、弓削保育所の園児たちがゆげ夢ランドの会の指導の下、初めてのEM団子作りを体験しました。

まずはじめに、指導者から「海をきれいにするために、この団子を作って海に投げ入れています。頑張って作ってください。」と話があり、園児たちは戸惑いながらも団子作りを始めました。最初は、「臭い」「気持ち悪い」などの声がありましたが、団子作りはお手のものといった感じで、次第に楽しくなってきた。「お味噌のにおいがする」「梅干のにおいがする」など、子どもながらの感想を言いながら、たくさんの団子を作り上げました。

その後、浜都海岸に行き、前もって作ってもらっていたEM団子を手にも、「きれいになってね!」と叫びながら、海の中へ投げ入れました。



上手にできました

EM団子を海に投げ入れる園児たち